

道銀SDGs私募債発行企業のご案内



弊行は、下記のとおり、道銀SDGs私募債を引受しましたのでお知らせします。

今回の道銀SDGs私募債の発行を記念して、発行企業から指定のあったSDGsに取り組む団体・基金へ、当行から寄付を行います。

私募債の発行は企業規模、財務、収益内容についての厳しい発行基準(適債基準)をクリアすることが必要であり、道銀SDGs私募債発行企業は優良企業として社会的評価がなされています。

道銀SDGs私募債の概要	
銘柄	株式会社オープンソース 第2回無担保社債 (北海道銀行保証付)
発行額	3千万円
発行日	2020年8月31日
期間	5年
資金用途	事業資金
寄付先	公益財団法人 アイヌ民族文化財団 ウポボイ(民族共生象徴空間)の運営主体。アイヌ語やアイヌの伝統文化の保存・振興、アイヌに関する知識の普及を通じ、アイヌ民族の誇りが尊重される社会の実現と多様な文化の一層の発展を目指します。
発行企業概要	
企業名	株式会社オープンソース
設立・創業	平成12年12月
所在地	札幌市中央区南1条西7丁目18番4
代表者	代表取締役 宮本 昭持
資本金	1,350万円
業種	ソフトウェア業
ホームページ	http://www.open-source.co.jp
事業内容・SDGs取り組み等	平成12年12月設立のソフトウェア会社です。ソリューション事業の他、ヘルプデスク等の保守管理業務、次世代の人材を育成する研修事業などを展開している企業です。 今般、北海道の企業としてアイヌの伝統文化の保全に貢献すべく「公益財団法人 アイヌ民族文化財団」への寄付を選択されました。
企業からのメッセージ	蓄積されたIT技術を駆使して企業の大小問わず個社ごとに最適なワンストップソリューションサービスを提供できることが弊社の強みです。 弊社は「法人として社会に役立ち信頼される事業活動を推進する」を経営理念としております。 SDGsに少しでも貢献したいとの思いから、アイヌ民族文化財団への寄付を選択いたしました。

北海道銀行は、SDGs達成に向けた取り組みを応援します

〈該当するSDGsの目標〉



SDGsは Sustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

